

STAINLESS STEEL FOR ROOFING

Nisshin Steel Quality Products

屋根用ステンレス



日新製鋼

Contents

目次

はじめに	1
カッパーソフトェン	
1. 特長	2
2. 標準製品	3
3. 製品特性	4
4. 使用上の注意事項	5
5. 単位質量	6
カラーソフトェン	
1. 特長	7
2. 標準製品	8
3. 製品特性	10
4. 使用上の注意事項	11
5. 単位質量	12
カラーソフトェンF	
1. 特長	13
2. 標準製品	14
3. 製品特性	16
4. 使用上の注意	17
5. 単位質量	17

はじめに

建物の印象を大きく左右する屋根、この屋根の設計に幅広い可能性を持たせたのが、当社のステンレス高級屋根材「カッパーソフテン」「カラーソフテン」「カラーソフテンF」です。

「カッパーソフテン」は18-8系ステンレスに銅めっきを施した製品で、ステンレスの強さと銅の美しさがみごとに調和した屋根材です。

「カラーソフテン」はカッパーソフテンと同様18-8系ステンレスを下地とし、耐候性にすぐれたシリコンポリエステル塗料を塗装焼き付けした製品です。

「カラーソフテンF」は18-8系ステンレスにフッ素樹脂塗料を塗装した超耐久性塗装鋼板です。深みのある洗練された色調とステンレスのもつ優れた耐久性とがあいまった屋根材です。ともに、日新製鋼の誇る表面処理技術とステンレス製造技術のふたつが一体となって誕生した製品です。



大泉緑地公園（大阪）

1. 特長

素 材

- 耐食性の良い18-8系ステンレスを使用しています。
- 施工時の加工、板金加工を考慮して、ステンレスを特殊処理し軟らかく（ソフトに）しています。
- すぐれた強さと加工性の両面をもった素材を使用しています。

銅めっき

- 落ちついた銅の色合は、豪華なイメージを与えます。
- 銅めっきがタイトについています。

施 工 性

- 広幅長尺コイルなので長尺工法が可能です。
- 加工性が良いので金属瓦などの製造が容易です。
- 板金による手加工もステンレスのイメージと異なり容易です。
- 雨樋に使用した場合は、銅板に比較したわみが少なく、施工が容易です。

経 済 性

- 素材の耐久性が良いので、メンテナンスの面で亜鉛めっき鋼板や塗装亜鉛めっき鋼板よりトータルコストは割安になります。
- 通常の塗装亜鉛めっき鋼板と同様の扱いが可能なので、他の屋根材（一般瓦、スレートなど）に比べ、施工時の省力と工期短縮がはかれます。



水上小学校（群馬）

2.標準製品

種類

種類	規格表示記号	表面仕上げ		銅めっき呼称付着厚さ	
		素材	めっき	表面	裏面
屋根用	MSKD-A-LB	ブライト	光沢めっき	10 μ	2 μ

備考1：その他の銅付着厚さについては別途ご相談に応じます。

2：表裏の銅付着厚さが異なる場合は表裏を区別するために裏面に月星マークをマーキングしてあります。

製造可能範囲

形状	寸法 (mm)		
	厚さ	幅	長さ
コイル	0.3~0.8	630~1,000	—
断裁コイル	0.3~0.8	100~600	—
板	0.3~0.8	630~1,000	914~2,500

※指定特寸コイル(20m,50m)の製造も可能です。

備考：板厚0.8mmを超えるものについては別途ご相談下さい。

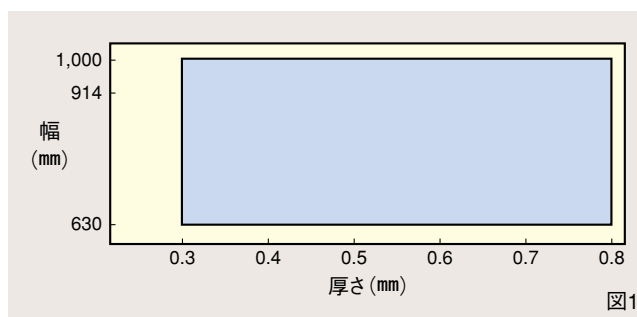


図1

代表寸法

形状	寸法 (mm)		
	厚さ	幅	長さ
コイル	0.3	914	コイル
	0.3	1,000	コイル
	0.4	914	コイル
板	0.3	914	1,829



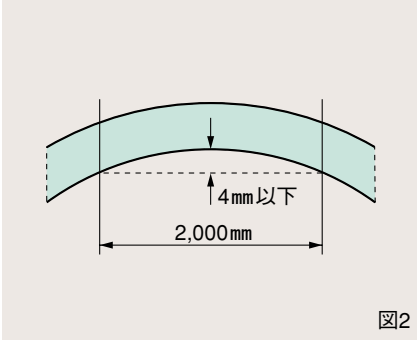
佐野文化会館 (栃木)



中央学院大学体育館 (千葉)

■寸法の許容差

項目		許容差 (mm)	摘要
厚さ	0.3以上0.60未満	±0.05	
	0.6以上0.80未満	±0.07	
	0.80	±0.09	
幅	広幅コイル・板	+7,-0	
	裁断コイル	±0.5	
長さ		+10,-0	板に適用
横曲り(裁断コイル)		任意の長さ 2,000mmにつき4mm以下	



3.製品特性

■機械的性質 (試験値の一例)

項目	材料	銅パーソフテン	銅板	塗装亜鉛めっき鋼板
引張強さ (N/mm ²)		672	237	338
耐力 (N/mm ²)		240	133	279
伸び (%)		57.5	39.5	26.7
ビッカース硬さ (Hv)		158	90	123
スプリングバック比		1.1	1.2	1.6

備考1：板厚は0.3mmです。 2：銅板は建材に使用される1/2硬質材です。

■物理的性質

材料	比重	線膨張係数 (×10 ⁻⁶)	熱伝導率W/(m・K)	融点 (°C)
鋼 (軟鋼)	7.85	11.6 (0~100°C)	4.19×10 ⁴	1530
銅 (1/2 硬質)	8.90	16.5 (0~100°C)	39.3×10 ⁴	1083
ステンレス (SUS304)	7.93	17.3 (0~100°C)	1.63×10 ⁴	1421
銅パーソフテン	7.97*1	——*2	5.69×10 ⁴	——

*1：銅パーソフテンの比重は板厚0.3mm、銅付着厚さ表面10μ、表裏2μの場合の値です。

*2：銅パーソフテンの線膨張係数はSUS304として取扱って下さい。



佐々木邸 (宮城)



高梁市民体育館 (岡山)

■耐食性

銅パーソフテンは素材ステンレスの耐食性と銅めっき被膜の耐食性の相乗効果によりすぐれた耐久性を発揮します。表面の銅めっき被膜は大気にさらされると酸化し銅特有の色調を呈し、期間の経過とともに環境によっては緑青が発生し

ます。また、銅めっきが減耗しても外装建材としての機能は損なわれることはありません。以下に銅パーソフテンの大気暴露結果を示します。

銅パーソフテンの大気暴露結果の一例

地区	環境	純銅の減耗厚さ(μ/年)
帯広	田園地帯	0.77
白浜(安房)	海岸地帯	1.37
桐生	田園地帯	0.70
宮崎	海岸地帯	1.17

注1：暴露期間/3年(銅酸化物を除去後測定)
 2：初期銅付着厚さ/10μ
 なおイオウ酸化物が多量に存在する腐食環境では、銅の減耗が促進されますのでご注意ください。

4.使用上の注意事項

■表裏の区分

表裏はめっき付着量が異なり、耐久性に差がありますので表裏を間違わないようご注意ください。表裏の区別は月星マーク(☾)のマーキングによって見分けて下さい。マーキングがある面が裏面です。コイルは通常、表面を内側にして巻いてあります。

■加工上の注意

- 硬度、引張り強さが高いため、剪断の際はステンレス用の機械器具を使用して下さい。普通鋼用では刃物の損耗が早く、切れ味が良くありません。
- 伸びが高いため剪断の際クリアランスは狭めにして下さい。



あさやホテル(栃木)



日新製鋼洗心荘(神奈川)

■施工上の注意

- 流電腐食防止のため、釘、樋受金具などは、銅、真ちゅう、ステンレス製を使用して下さい。
- 雨水が局部的に落下すると、その部分の銅が局部的に減耗しますので、樋を取り付ける等配慮して下さい。
- 上屋根材に含まれる塩類によって銅が減耗されますので、腰葺き、額葺きはさけて下さい。
- 真木有り瓦棒は、真木の木材に塩類が含まれていることがあり、耐久性を著しく低下させますのでさけて下さい。
- もらい錆防止のため、工事の残材(切屑、切粉、釘など)は、除去して下さい。

■補修について

経年とともに使用条件によっては局部的に銅めっきが減耗し、素材ステンレスが露出する場合がありますが、外装建材としての機能上は全く問題はなく補修の必要はありません。

しかし補修を希望される場合はくれん等十分な下地処理を行った後にポリウレタン樹脂塗料等(下塗り塗装有り)で補修塗装を行って下さい。

詳細については別途ご相談下さい。

■その他

- 初期変色は、生産ロットや作業時の汚れ等で、多少差がありますが、施工後6カ月～1年でほぼ均一になります。
- 雨樋に使用した場合には、内側の銅が早期に減耗し、ステンレス素地が見えることがありますが、耐久性には影響ありません。
ただし、ゴミ等が長期にたまると穴あきが発生することがありますのでご注意下さい。
- 屋根施工直後は、降雨時に微量の銅イオンが一時的に溶けることがあります。人体にはまったく影響はありませんが鯉、鮒、金魚などの淡水魚は、この銅イオンに敏感なので、屋根から流れる雨水を池や飼育槽に導かないようにご注意下さい。

5.単位質量

■質量計算

広幅コイルおよび切板は計算質量、裁断コイルは実質量とします。

■単位質量

板厚 (mm)	製品単位質量 (kg/m ²)	幅914mm×1,000mm当たり (kg/枚)	914×1,829 (kg/枚)	1,000×2,000 (kg/枚)
0.3	2.486	2.27	4.16	4.97
0.4	3.279	3.00	5.48	6.56
0.5	4.072	3.72	6.81	8.14
0.6	4.865	4.45	8.13	9.73
0.8	6.451	5.90	10.8	12.9

1.特長

素 材

- 耐食性の良い18-8系ステンレスを使用しています。
- 施工時の加工、板金加工を考慮して、ステンレスを特殊処理し、軟らかく(ソフトに)しています。
- 強度と加工性の両面ですぐれた素材を使用しています。

塗 膜

- 耐候性がにすぐれたシリコンポリエステル樹脂塗料を塗装しています。

色 調

- 標準色は次ページに示す15色を取り揃えております。その他指定色でもご相談に応じます。
- 深みのある落ち着いた色調です。

施 工 性

- 特殊処理を施したステンレスを塗装用原板に使用しているため、加工性が大幅に改善されました。
- 板金による手加工もステンレスのイメージと異なり容易です。

経 済 性

- 耐久性が大幅に向上したため、長期間にわたり補修や塗り替えが省け大変経済的です。

不燃材料

- 建築基準法第2条第9号の規定により認定を取得した不燃材料です。認定番号NM-8317

JIS規格

- JIS G 3320(塗装ステンレス鋼板)に準拠した製品です。



加茂農林高等学校体育館 (新潟)



美和中学校体育館 (愛知)

2.標準製品

製品断面図

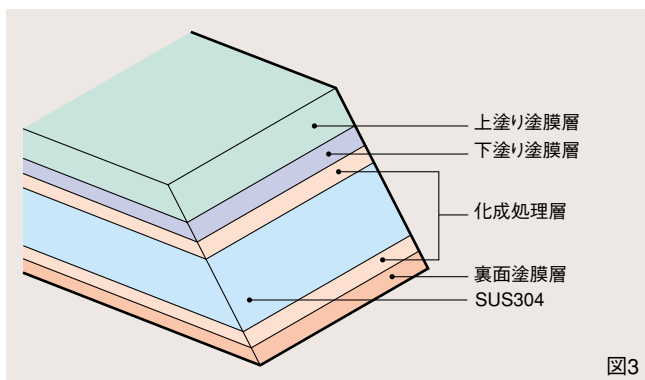


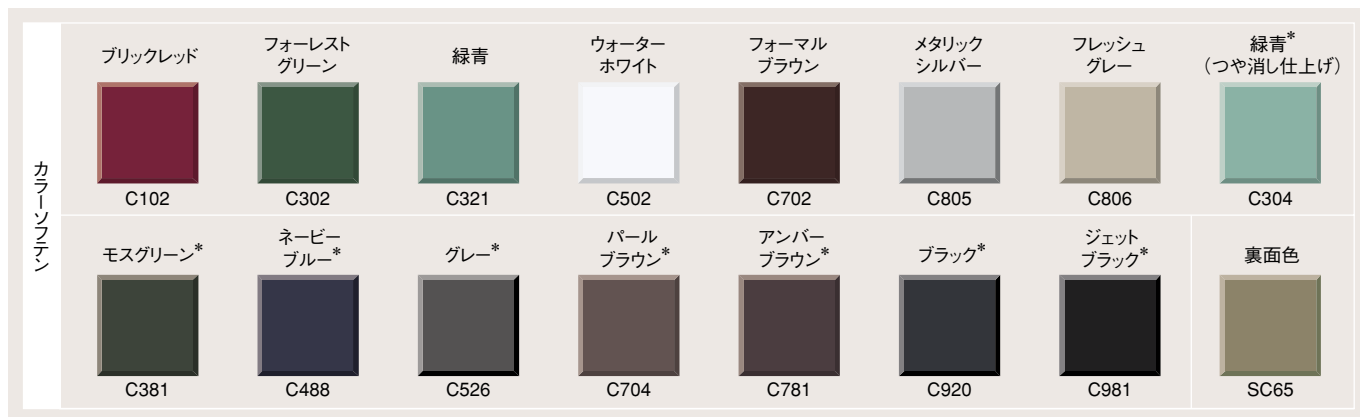
図3



活魚料理日本海（愛知）

標準色

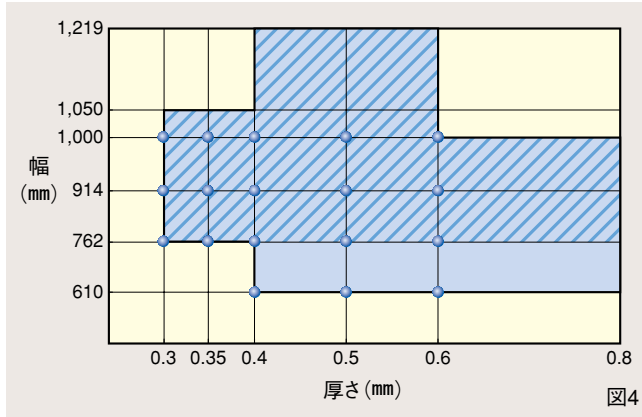
品名		カラーソフトン			
区分	色	色調名	色記号	色調名	色記号
表面		ブリックレッド	C102	緑青*(つや消し仕上げ)	C304
		フォレストグリーン	C302	モスグリーン*	C381
		緑青	C321	ネービーブルー*	C488
		ウォーターホワイト	C502	グレー*	C526
		フォーマルブラウン	C702	パールブラウン*	C704
		メタリックシルバー	C805	アンバーブラウン*	C781
		フレッシュグレー	C806	ブラック*	C920
		—	—	ジェットブラック*	C981
裏面		裏面色			SC65



注1：現品の色は、印刷と若干異なりますので、現物見本でご確認下さい。

2：*のついたものはつや消し仕上げです。

■ 製造可能範囲



寸法	形状	コイル	板
厚さ (mm)		0.3~0.8	0.3~0.8
幅 (mm)		610~1,219	762~1,219
長さ (mm)		—	1,524~3,658

- 標準品
- 板の製造可能範囲
- コイルの製造可能範囲

備考：板厚0.6mm以下は特に手加工用の素材を使用しています。
板厚0.8mmを超えるものについては別途ご相談下さい。

■ 寸法許容差

項目		許可差 (mm)
厚さ	0.6mm未満	+0.08、-0.02
	0.6mm以上0.8mm未満	+0.10、-0.04
	0.8mm以上	+0.12、-0.06
幅	広幅コイル・板	+7、-0
	裁断コイル	±0.5
長さ	板	+10、-0
横曲り	広幅コイル	任意の長さ2,000mmにつき2mm以下
	裁断コイル	任意の長さ2,000mmにつき4mm以下



塩沢小学校校体育館 (新潟)



高野口町東部体育館 (和歌山)

3.製品特性

■特性（試験値の一例）

試験項目	試験条件	結果	
		カラーソフトン	塗装亜鉛めっき鋼板
光沢	60度鏡面反射率	35	60
鉛筆硬度	「三菱ユニ」	2H	2H
基盤目	—	塗膜はくりなし	塗膜はくりなし
衝撃変形（B法）	—	塗膜われ、はくりなし	塗膜われ微少、はくりなし
耐屈曲性	180度曲げ試験（0t）	塗膜われ少、はくりなし	塗膜われ多、はくりなし
塗膜加熱	150℃2時間	異常なし	異常なし
耐水性	20℃144時間	異常なし	異常なし
耐アルカリ性	Ca(OH) ₂ 飽和水溶液 20℃24時間	異常なし	異常なし
耐酸性	H ₂ SO ₄ （10%硫酸）5時間	異常なし	やや変色
耐塩水性	塩化ナトリウム水溶液（3wt%） 20℃96時間	異常なし	異常なし
耐沸騰水性	1時間	異常なし	異常なし
塩水噴霧	2,000時間	フラット部	異常なし
		2t曲げ部	異常なし
		クロスカット部	異常なし
サンシャイン型 ウエザオメーター	2,000時間	退色僅少、光沢低下	退色多、光沢低下

注1：試験・（財）建材試験センター

2：供試材・0.3mm C 701/0.35mm 月星カラー R 11

■機械的性質（試験値の一例）

項目	材料	カラーソフトン	銅板	塗装亜鉛めっき鋼板
引張強さ（N/mm ² ）		667	237	338
耐力（N/mm ² ）		250	133	279
伸び（%）		54.2	39.5	26.7
ビッカース硬さ（Hv）		155	90	123
スプリングバック比		1.0	1.2	1.6

注1：板厚は0.3mmです。

2：銅板は建材に使用される1/2硬質材です。

■原板の物理的性質

材料	比重	線膨張係数(×10 ⁻⁶)	熱伝導率W/(m・K)	融点(°C)
銅(軟銅)	7.85	11.6(0~100°C)	4.19×10 ⁴	1530
銅(1/2硬質)	8.90	16.5(0~100°C)	39.3×10 ⁴	1083
ステンレス(SUS304)	7.93	17.3(0~100°C)	1.63×10 ⁴	1421

注：カラーソフトンの線膨張係数はSUS304として取扱って下さい。

4.使用上の注意事項

■加工

- 板の曲げ半径は、板厚の2倍以上が適当です。
- 剪断の際は、ステンレス用のはさみや剪断器具を使用して下さい。切断面や折り曲げ部は、工具によるもらい錆を受けやすいところなので、工具は十分手入れしたものを使用して下さい。

■施工

- 接合金具、止め金具、釘はステンレス製をご使用下さい。
- 油等の汚れは、家庭用中性洗剤または温水で除去して下さい。

- 屋根上作業による材料の切屑、切粉、釘などは放置すると塗膜劣化促進の原因となりますので取り除いて下さい。
- 真木有り瓦棒は、真木の木材に塩類が含まれていることがあり、耐久性を著しく低下させますのでさけて下さい。
- 表面に寸法をケガク場合には、塗膜に傷をつけぬよう鉛筆、マジックペン等をご使用下さい。



苫小牧工業高等学校体育館(北海道)



小出高等学校体育館(新潟)

■補修

■ 施工直後または施工後早い段階で発見された施工疵等の線状疵はカラーソフトン用タッチアップ補修塗料にて補修願います。

なお、補修時にはタッチアップ部のゴミ、汚れ、油分を除去し、水洗後乾燥させた後、塗装して下さい。

注) タッチアップ用補修塗料は溶剤で希釈せずに原液でご利用下さい。

■ 下地の素材がステンレスなので、たとえ表面の塗膜に変化を生じて、一般環境では屋根の機能上は、問題ありませんが美観などの観点から表面状況の変化に応じ、再塗装(一般環境では5~7年毎に)することをおすすめします。

ただし、塩分の影響の著しい海岸地帯等では塗膜の劣化に伴い点サビが発生することがありますので、更に寿命を伸ばすため早期メンテナンスをおすすめします。

なお、塗料については別途ご相談下さい。

5. 単位質量

■質量計算

広幅コイルおよび切板は計算質量、裁断コイルは実貫質量とします。

■単位質量

単位kg/m²

表示厚さ (mm)	単位質量
0.3	2.379
0.35	2.776
0.4	3.172
0.5	3.965
0.6	4.758
0.8	6.344

■コイルの単位質量

単位kg/m

厚さ (mm) \ 幅 (mm)	610	762	914	1000	1219
0.3	—	1.81	2.17	2.38	—
0.35	—	2.12	2.54	2.78	—
0.4	1.93	2.42	2.90	3.17	3.87
0.5	2.42	3.02	3.62	3.96	4.83
0.6	2.90	3.63	4.35	4.76	5.80
0.8	3.87	4.83	5.80	6.34	—



白浜小学校体育館 (千葉)



江戸川区スポーツランド (東京)

1.特長

素 材

- 耐食性の良い18-8系ステンレスを使用しています。
- 施工時の加工、板金加工を考慮して、ステンレスを特殊処理し、軟らかく(ソフトに)しています。
- 強度と加工性の両面ですぐれた素材を使用しています。

塗 膜

- 耐候性が抜群にすぐれたフッ素樹脂塗料を塗装しています。

色 調

- 標準色は次ページに示す10色を取り揃えております。その他指定色でもご相談に応じます。
- 深みのある落ち着いた色調です。

施 工 性

- 特殊処理を施したステンレスを塗装用原板に使用しているため、加工性に優れています。
- ステンレスとフッ素樹脂塗料を組合わせたことにより、塗膜の加工性が大幅に改善されました。
- 板金による手加工もステンレスのイメージと異なり容易です。

経 済 性

- 耐久性が大幅に向上したため、長期間にわたり補修や塗り替えが省け大変経済的です。

不燃材料

- 建築基準法第2条第9号の規定により認定を取得した不燃材料です。認定番号NM-8317

JIS規格

- JIS G 3320(塗装ステンレス鋼板)に準拠した製品です。



金乃台カントリークラブ・クラブハウス (茨城)

2.標準製品

製品断面図

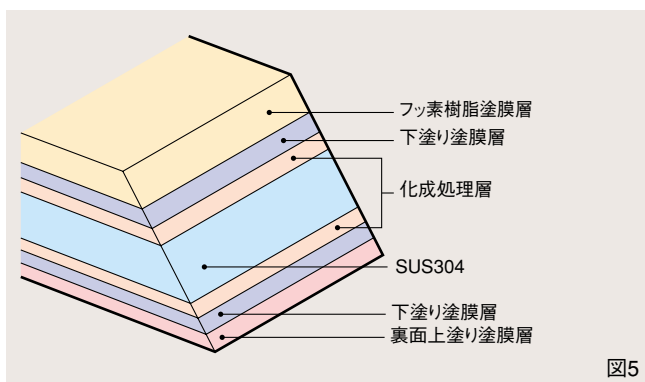


図5

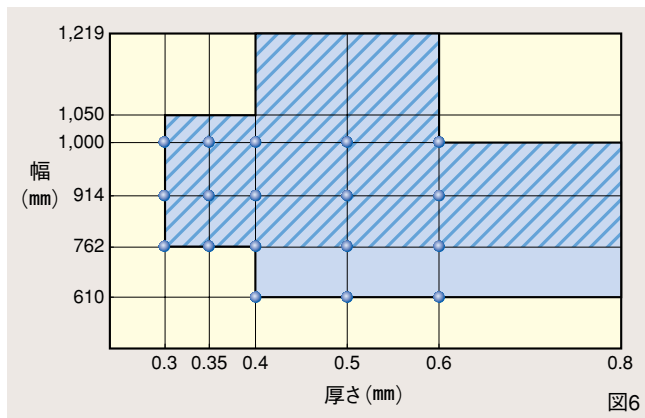
標準色

区分	色	色調名	色記号	色調名	色記号
表面		レッド	F1A1	コーヒーブラウン	F7A1
		グレイシュグリーン	F3A1	アイボリー	F2A1
		銅	F3A2	グレー	F5A1
		ブルー	F4A1	レイブンブラック	F9A1
		ダークオリーブ	F6A1	メタリックシルバー	F814
裏面		グレー	SF60		



注：現品の色は、印刷と若干異なりますので、現物見本でご確認下さい。

■ 製造可能範囲



寸法	形状	コイル	板
厚さ (mm)		0.3~0.8	0.3~0.8
幅 (mm)		610~1,219	762~1,219
長さ (mm)		—	1,524~3,658

- 標準品
- 板の製造可能範囲
- コイルの製造可能範囲

備考：板厚0.6mm以下は特に手加工用の素材を使用しています。
板厚0.8mmを超えるものについては別途ご相談下さい。

■ 寸法許容差

項目		許容差 (mm)
厚さ	0.6mm未満	+0.08、-0.02
	0.6mm以上0.8mm未満	+0.10、-0.04
	0.8mm以上	+0.12、-0.06
幅	広幅コイル・板	+7、-0
	裁断コイル	±0.5
長さ	板	+10、-0
横曲り	広幅コイル	任意の長さ2,000mmにつき2mm以下
	裁断コイル	任意の長さ2,000mmにつき4mm以下



海上保安大学校体育館 (広島)



吉田邸 (千葉)

3.製品特性

■特性（試験値の一例）

供試材：新茶色

試験項目	試験の結果			
	カラーソフテンF	熔融亜鉛めっき鋼板原板のフッ素塗装鋼板（他社材）	カラーソフテン	
光沢（60度鏡面反射率）	35	35	35	
鉛筆硬度	H	H	2H	
基盤目試験	塗膜はくりなし	塗膜はくりなし	塗膜はくりなし	
衝撃変形試験	塗膜われ、はくりなし	塗膜われ微妙、はくりなし	塗膜われ、はくりなし	
180度曲げ試験（0t）	塗膜われ、はくりなし	塗膜われ極多、はくりなし	塗膜われ少、はくりなし	
90度曲げ試験（内R0mm）	塗膜われ、はくりなし	塗膜われ極多、はくりなし	塗膜われ少、はくりなし	
塩水噴霧試験 （10,000時間）	フラット部	異常なし	さび、ふくれとも少	異常なし
	2t曲げ部	異常なし	さび、ふくれとも多	異常なし
	クロスカット部	異常なし	さび、ふくれとも多	異常なし
	端面部	異常なし	さび、ふくれとも多	異常なし
高温 サンシャイン 試験（80℃） （5,000時間）	色差（△E）	1.0	1.5*	2.3
	光沢保持率（%）	82	68*	20
	チョーキング	なし	なし	若干あり
	塗膜われ	なし	なし	なし
	基盤目試験	塗膜はくりなし	塗膜はくりなし	塗膜はくりなし
EMMAQUA試験 （200万ラングレイ）	色差（△E）	0.8	1.0*	—
	光沢保持率（%）	96	81*	—

注：*印はカラーソフテンFと塗料が異なる。

■機械的性質（試験値の一例）

項目	材料	カラーソフテン	銅板	塗装亜鉛めっき鋼板
引張強さ（N/mm ² ）		667	237	338
耐力（N/mm ² ）		250	133	279
伸び（%）		54.2	39.5	26.7
ビッカース硬さ（Hv）		155	90	123
スプリングバック比		1.0	1.2	1.6

備考1：板厚0.3mmです。

2：銅板は建材に使用される1/2硬質材です。

■原板の物理的性質

材料	比重	線膨張係数（×10 ⁻⁶ ）	熱伝導率W/（m・K）	融点（℃）
鋼（軟鋼）	7.85	11.6（0～100℃）	4.19×10 ⁴	1530
銅（1/2硬質）	8.90	16.5（0～100℃）	39.3×10 ⁴	1083
ステンレス（SUS304）	7.93	17.3（0～100℃）	5.69×10 ⁴	1421

注：カラーソフテンFの線膨張係数はSUS304として取扱って下さい。

4. 使用上の注意事項

■ 加工

- フッ素樹脂塗膜は、やわらかいため取り扱い傷にご注意下さい。

■ 施工

- 接合金具、止め金具、釘はステンレス製をご使用下さい。
- 油等の汚れは、家庭用中性洗剤または温水で除去して下さい。
- 屋根上作業による材料の切屑、切粉、釘などは、放置すると塗膜劣化促進の原因となりますので取り除いて下さい。

- 真木有り瓦棒は、真木の木材に塩類が含まれていることがあり、耐久性を著しく低下させますのでさけて下さい。
- 表面に寸法をケガク場合には、塗膜に傷をつけぬように鉛筆、マジックペン等をご使用下さい。

■ 補修

- 施工直後または施工後早い段階で発見された施工疵等の線状疵はカラーソフトェン用タッチアップ補修塗料にて補修願います。
 なお、補修時にはタッチアップ部のゴミ、汚れ、油分を除去し、水洗後乾燥させた後、塗装して下さい。
 注) タッチアップ用補修塗料は溶剤で希釈せずに原液でご使用下さい。

5. 単位質量

■ 質量計算

広幅コイルおよび切板は計算質量、裁断コイルは実貫質量とします。

■ 単位質量

単位kg/m²

表示厚さ (mm)	単位質量
0.3	2.379
0.35	2.776
0.4	3.172
0.5	3.965
0.6	4.758
0.8	6.344

■ コイルの単位質量

単位kg/m

厚さ (mm) \ 幅 (mm)	610	762	914	1000	1219
0.3	—	1.81	2.17	2.38	—
0.35	—	2.12	2.54	2.78	—
0.4	1.93	2.42	2.90	3.17	3.87
0.5	2.42	3.02	3.62	3.96	4.83
0.6	2.90	3.63	4.35	4.76	5.80
0.8	3.87	4.83	5.80	6.34	—



日新製鋼株式会社

 www.nisshin-steel.co.jp

本社	〒100-8366 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル	TEL. 03-3216-5584
大阪支社	〒541-0048 大阪市中央区瓦町3-6-5 銀泉備後町ビル	TEL. 06-6202-1335
名古屋支社	〒460-0003 名古屋市中区錦2-13-19 瀧定ビル	TEL. 052-229-4417
中国支社	〒730-0051 広島市中区大手町3-2-31 損保ジャパン広島大手町ビル	TEL. 082-248-4615
北海道支店	〒060-0042 札幌市中央区大通り西7-1-1 ダヴィンチ札幌パークフロント	TEL. 011-241-7524
東北支店	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル	TEL. 022-222-5835
新潟支店	〒950-0087 新潟市中央区東大通1-3-10 三井生命新潟ビル	TEL. 025-243-3491
北陸支店	〒930-0004 富山市桜橋通り2-25 富山第一生命ビル	TEL. 076-433-8011
岡山支店	〒700-0907 岡山市北区下石井2-1-3 岡山第一生命ビル	TEL. 086-231-4355
四国支店	〒760-0017 高松市番町1-6-1 住友生命ビル	TEL. 087-851-9756
(愛媛事務所)	〒790-0003 松山市三番町7-1-21 ジブラルタ生命松山ビル	TEL. 089-913-6020
九州支店	〒810-0001 福岡市中央区天神1-13-2 興銀ビル	TEL. 092-781-1251

ご注意ならびにお願い

本資料に記載された技術情報は、本資料の発行時点における弊社製品の一般的な特性や性能を説明するためのものであり、それによって何らかの保証をするものではありません。また、本資料に記載された技術情報は、個別の使用目的・環境・条件等によってあてはまらないことがありますので、ご注意下さい。本資料は予告なしに変更されることがあります。最新の情報については、弊社各担当部署にお問い合わせ下さい。

